



農の未来ネット

NO. 7

特定非営利活動 (NPO) 法人農の未来ネット

理事長：倉本器征 (東京農工大学名誉教授)

発行責任者：田沼 繁 (NPO法人農の未来ネット事務局：電話 & FAX 042-313-3620)

編集長：西村正昭

特別寄稿

アグリ・ボラバイト相互理解のための現地交流会に参加して

はじめに

「農の未来ネット」No.3にて報告しました6月20日開催の「アグリ・ボラバイト相互理解の現地交流会」(受け入れ生産者埼玉県本庄市吉田道行さん圃場にての農作業体験等実施)に参加頂いた経営コンサルタントの方から、現地交流会を通じての当NPO法人の中心事業である「アグリ・ボラバイト」事業に関する感想・課題等を特別寄稿していただきました。

去る6月20日に開催された「アグリ・ボラバイト相互理解のための現地交流会」に縁あって参加させていただきました。当日は、直接農園主(吉田氏)から営農に関するお話をお聞かせ頂いただけでなく、農業について広範な知見を有する方々から様々なことを教えていただく機会にも恵まれました。そればかりか、農作業の一端をも経験させていただき、とても充実した時間を過ごさせていただきました。そのため、約半日にわたる活動にもかかわらず、あっという間に時間が過ぎてしまったというのが正直な感想です。

勿論、その背景には、作業の割り振りや人員の配置を含め多方面にわたる吉田御夫妻のご配慮があったことは間違いありません。その受入れ対応の見事さにはほとんど感心させられました。と同時に、アグリ・ボラバイト事業成功の鍵の一つが、

働き手(ボラバイター)を受け入れる農業経営体(以下、受入れ経営体)の“ボラバイトに対する理解とそれに基づく受入れ態勢の整備”にあるのではないかと考えさせられました。そこで、以下、私見を述べさせていただきます。

一般的に、ボラバイターの活動は金銭の獲得が主目的ではなく、それ以外のこと一例えば社会貢献や人助け、経験の蓄積等一が主目的である場合が殆どです。大雑把に言えば、パートやアルバイト等の雇用形態であれば、労働に対して決められた賃金等を支払えばそれで事足りませんが、ボラバイトの場合、受入れ経営体はボラバイターに対し、金銭的報酬以外の何か一社会貢献の場、知識、人的交流等一を提供することが期待されるということです。つまり、ボラバイターの活動にボランティア的な要素があるのと同様に、受入れ経営体にもボランティア的な性格・行動が求められるということです。そのため、もし経営体はその点を充分理解せず、ボラバイトを単なる雇用形態の一つとしてとらえてしまえば、ボラバイターと受入れ経営体との間で重大なトラブルが発生することも十分に予想されます。そうならば、アグリ・ボラバイト事業の発展は望むべくもありません。すべての経営体が吉田農園のようにボラバイトを充分に理解し、その上、地域外の人との交流にも慣れていけば何の心配もありません。しかし、今後事業が拡大され、受入れ経営体の数が増えるにつれて、こうした理解や経験が不十分な経営体もきつと出てくることでしょう。そこで、受入れ経営体に対し、ボラバイトの意義や内容の理解と受け入れ態勢の整備を促す為の研修プログラム等を、出来るだけ早い段階で準備しておくことが事業成功のために求められるのではないのでしょうか。

(経営コンサルタント K氏)

事業報告

あぐ・ぼら教室開催

「アグリ・ボラバイター事前学習会」



【写真】 説明する受け入れ生産者の吉田道行さん

10月3日(土)、私たちNPO法人農の未来ネットの中心をなす「アグリ・ボラバイト」(協同援農)事業の第1回あぐ・ぼら教室(アグリ・ボラバイター(協同援農希望者)事前学習会)が、NPO法人食農研センターフェアビデンを会場に開催されました。このあぐ・ぼら教室は、アグリ・ボラバイトに参加する方々を対象に、アグリ・ボラバイターを受け入れ生産者との対面契約前に、農業事情や農作業等の予備知識を提供するものです。また、当NPO法人関係者との交流も兼ねています。今回は、埼玉県在住の吉田幸平さん親子2名が受講に参加しました。

冒頭、田沼繁事務局長から、「農業事情のあれこれ」をテーマに農政・農業の概要を紹介し、つづいて、西村正昭「農の未来ネット」編集長から、実際に春日部楽農倶楽部での農作業経験談を元にした「援農体験のお話」、さらにアグリ・ボラバイト(協同援農)事業受け入れ先生産者として登録されている埼玉産直センター生産者である吉田道行さん(当NPO法人理事)から、ご自身の圃場状況や農作業内容を具体的にわかりやすく紹介されました。

教室終了後、フェアビデンの国産素材料理を囲んで交流会が賑やかに行われ、参加した吉田幸平さん親子から「今回参加してよかった。今後ともいろいろな行事に参加したいのでご連絡を」との感想をいただきました。緒についたばかりのアグリ・ボラバイト(協同援農)事業ですが、発展的に推進させるため、今後とも、PR及び内容の充実、農業会議所をはじめとする各種就農機関や行政等との連携を図って参ります。



Information

NPO法人農の未来ネット設立記念セミナー

平成の農業はオレがやる！

～魅力への誘い～

- 開催日 11月7日(土曜日)
(資料代として参加費500円)
- 時間 13:30～17:00(予定)
- 場所 東京大学弥生講堂
アネックスセイホクギャラリー
- 基調報告 「ボラバイトは農業の救世主になるか～現状と課題」
山本哲哉((株)サンカネットワーク・「ボラバイト」運営スタッフ)
- 実態報告 「実践者は平成農業をこう切りひらく～農業法人と就農」
飯島幸三郎(船橋農産物供給センター代表理事)
- 提言報告 「魅力ある農業・農村の発展に向けて」
鈴木宣弘(東京大学大学院(農学国際専攻)教授)

参加申込方法等はNPO法人農の未来ネットホームページをご欄下さい。

【URL】 <http://www.nou-mirai.org/>

編集後記*****

第1回あぐ・ぼら教室が開催されました。埼玉県の吉田さん親子の参加です。御茶ノ水駅で待ち合わせていましたが、少し遅れての到着。御茶ノ水は初めてのようでしたが、親子は駅から教室に向かう道が落ち着いている雰囲気にはびっくりしていました。農の未来ネットの面々とは初めてあったのに緊張感もなく、スムーズに講習会は終了。続いての交流会はわきあいあい。フェアビデンの石井正江さん(NPO法人農の未来ネット監事)らの手作りのおいしい料理と、アルコールとで参加者と吉田さん親子とは意気投合。ありがとうございました。

11月7日(土)は、東京大学弥生講堂アネックスセイホクギャラリーにおいて「平成の農業はオレがやる！～魅力への誘い～」というテーマで設立記念セミナーを開きます。みなさんのご参加を心からお待ちしております。

(西村)